

◆学習指導内容

6年生（総合） わたしたちの暮らしと交通（7時間）

であう・つかむ（1時間）

①出かけるときにはクルマか公共交通機関かどちらがよいか話し合う

クルマがよい

- ・家から乗ったまま目的地に着ける
- ・荷物がたくさん積める
- ・公共交通機関よりも早い
- ・自分だけの空間がもてる
- ・目的地までどのくらい時間がかかるのかな④

公共交通機関がよい

- ・運転しなくていいから楽
- ・友達とみんなで乗ることができる
- ・電車や地下鉄だと渋滞に巻き込まれない
- ・クルマだと環境によくはない
- ・環境面でどのくらい違いがあるのかな④

クルマと公共交通機関では、どちらが豊かな暮らしをもたらしてくれるのだろう

調べる（5時間）

②③遠足で行く市内巡りコースを計画する

- ・歴史で学んだ場所に行ってみたい
- ・行きたい場所の全てを周るのは不可能だ
- ・できるだけ効率よく周ることが大事だ
- ・所要時間を調べて計画しなければいけない
- ・クルマでまわれたらもっと早いのに
- ・目的地までどのくらい時間がかかるか調べよう④

④クルマと公共交通機関での目的地までの所要時間を調べる

- ・公共交通機関のほうが早いことがある
- ・CO2の排出量は公共交通機関のほうがかなり少ない
- ・歩くことでカロリーが消費できる
- ・1台に多くの人が乗れるから渋滞緩和につながる
- ・市バスの利用者数はずっと減ってきたのに近年増えている
- ・京都市交通局は乗客を増やすためにどんな工夫をしているのだろう⑤

⑤京都市交通局の乗客を増やす取組を調べる

- ・観光地や駅へ向かうバスが増便された
- ・夜遅くまで運行するようになった
- ・地下鉄の駅にお店が入った
- ・10種類のICカードが使える
- ・HPで乗り継ぎ案内が調べられる
- ・ポケロケのアプリでバスの接近状況がわかる
- ・京都市が公共交通機関の利用を進めているそう
- ・京都市ではどんな取組をしているのだろう⑥

市内めぐり

⑥京都市の公共交通機関の利用を増やすための取組を調べる

- ・「歩くまち・京都」憲章が出された
- ・パークアンドライドが設けられた
- ・歩くことで市民の健康づくりにも役立つそう
- ・京都らしいまちづくりを進めているそう
- ・観光客が多いまちだから、よいことかもしれない
- ・でも不便になることはないかな
- ・クルマと公共交通機関では、どちらが豊かな暮らしをもたらしてくれるのだろう⑦

問いかける（1時間）

⑦クルマと公共交通機関では、どちらが豊かな暮らしをもたらしてくれるのか話し合う

- ・いつでもどこでも行くことができるクルマはやはり私たちの暮らしを豊かにしてくれる
- ・公共交通機関は環境面でも道路事情においてもよい影響があり、よいのではないかな
- ・京都は歴史のまちだから、歩くまちのほうが似合っているように思う
- ・公共交通機関のよさはわかるけど、登校するときでさえ歩くのがしんどいと思うことがあるから、自信がない
- ・どんなときでもクルマを使うのではなく、公共交通機関を上手に使うことが大事だと思う
- ・歩くまち・京都をみんなで進めていくには、京都にとってなにが大切かをみんなで話し合っていくことが大事だね

クルマは便利で快適な暮らしをもたらしてきた。一方公共交通機関は、環境面でも道路事情においても見直されてきている。京都に暮らす私たちにとって、どのような社会が豊かなのか、一人一人が未来の京都の姿をえがいていく必要がある。

◆単元的主要活動内容と子どもの反応

1時間目 「出かけるときにはクルマか公共交通機関かどちらがよいか話し合う」

①お出かけをするとき、クルマか公共交通機関かどちらを選ぶのか尋ねる。

⇒大半の児童が「クルマ」と答えた

②なぜそうなのかを問う。(自分で理由を考える⇒発表)

クルマと公共交通機関の良さや欠点の表にしながらか板書する。

③出された理由をキーワード化する。(「豊かさ」を生み出す「便利さ」「時間」「環境」・・・)

④単元の学習問題をつくる。

クルマと公共交通機関では、どちらが豊かな暮らしをもたらしてくれるのだろう

【子どもたちの疑問】

- ・目的地までの時間はどれくらい違うのだろう
- ・環境面ではどれくらい違うのだろう

⇒今度行く市内巡りで調べてみよう

2・3時間目 「遠足で行く市内巡りコースを計画する」

①市内巡りのコースをグループで計画する。(コンピューター室)

【子どもたちの感想】

- ・移動時間がどれくらいかかるか調べないといけない
- ・クルマならもっとまわれそうなのに

⇒所要時間を調べてみよう

4時間目 「クルマと公共交通機関での目的地までの所要時間を調べる」

①アクセス早見表を使って、所要時間を調べる。

【子どもたちの感想】

- ・環境面では公共交通機関の方がよい
- ・やっぱりクルマの方が早くまわれる
- ・歩く距離や待ち時間を考えてもクルマが便利だ

②市バスの利用者数の変化(昭和62年～)をパワーポイントで見せる。

- ・やっぱりどんどん減っている
- ・毎年減り続けている
- ・あれ? 最近5年くらいは増えてきている
- ・何があったのだろうか?
- ・京都市交通局が乗客を増やすために何か工夫をしたんじゃないか?

5時間目 「京都市交通局の乗客を増やす取組を調べる」

①前時の振り返りをする。

- ・公共交通機関の利用が減ってきている

- ・最近5年間くらいは増えてきている

⇒どんな取組をしているのか

②予想をする。(自分が担当者になったつもりで公共交通機関の欠点克服を考える。)

- ・値段を下げる ・本数を増やす ・特急・急行をつくる
- ・宣伝する ・IC共通カードを使えるようにする

③写真資料から調べる。

バス停の写真 コンビニの写真

⇒本数が増えている 遅い時間まで運行している 直行便ができています

wifiが入っている 椅子が設置されている

他の会社のバスと一緒に見やすくなっている

コンビニで待てるようになっていて スマートフォンでバスがいつ来るかが分かる

④ゲストティーチャーのお話を聞く。

- ・交通局で乗客増を図るため、どのような話が進められたのか 何が変わったのか
- ・その他の具体的な取組について
(キャラクター 観光地への増便 ICカード 乗り継ぎダイヤの見直し
路線の充実 コトチカ 駅中スイーツ インターネット乗換案内など)
- ・最後に、京都市のまちづくり全体が公共交通機関利用を進める展開になってきていることを話してもらおう。

6時間目 「京都市の公共交通機関の利用を増やすための取組を調べる」

①前時の振り返りをする。

- ・京都市交通局の取組もあって、バスの利用者が増えてきている。
- ・京都市も公共交通機関利用を増やす取組をしている。

⇒どんな取組をしているのか

②歩くまち京都の取組を紹介する。

パークアンドライド 四条通の歩道拡幅

⇒なぜ京都市は不便になるにもかかわらず歩くまち京都を進めようとしているのだろう

②予想をする。

- ・京都議定書を守るため ・渋滞を減らすため ・交通事故を減らすため

③写真資料から調べる。

外国人観光客でにぎわうまちの写真 渋滞の写真

小路にクルマが通っている様子の写真

⇒京都の歴史を観に来る人にとって、景観としてもよくない。

外国人観光客はクルマでは観光できない

渋滞が厳しい

子どもたちが危険

④ゲストティーチャーのお話を聞く。

- ・歩くまち・京都憲章について

- ・歩くまち・京都のねらうまちづくりについて
- ・その他の取組について
路面電車の復活・・・
- ・最後に、どんな暮らしが豊かか今一度考えてほしいと呼び掛けてもらう

7時間目 「クルマと公共交通機関では、どちらが豊かな暮らしをもたらしてくれるのか話し合う」

①前時の振り返りをする。

- ・京都市は公共交通機関を利用するよう取り組んでいる
- ・新しい京都のまちづくりを目指している

⇒どちらが豊かなくらしをもたらしてくれるだろうか

②自分の意見を整理する。

- ・これからの京都をどうするかという視点で考える
- ・自分にできることを考える

③全員で話し合う。

- ・全員が発表できるようにする

④感想を書き、発表する。

感想例

学習を終えての感想(学習して思ったこと・話し合った後の自分の考え・これからのことなど)

はじめは、公共交通機関より、クルマのほうが、楽だし、便利だし、いいなと思ったけど、この勉強をして、公共交通機関の乗客を増やすための取組や、環境のことなど、いろいろなことを知ると、公共交通機関もいいなと思いました。これから京都の町なみをまたたくために、公共交通機関も利用したいと思いました。自分のことだけを考えるのではなく、

学習を終えての感想(学習して思ったこと・話し合った後の自分の考え・これからのことなど)

クルマは、良いところもたくさんあるけど、クルマのルールを守らない人が、CO₂の排出量を増やして、京都の環境や景観が大きく傷ついていくと、公共交通機関は、環境にも良いことか分かったし、これからは公共交通機関を利用する時も使ってみたいと思いました。

クルマの方が良いと思っていたけど、京都のことを考えると、公共交通機関の方が、よし、これからは公共交通機関も使ってみたいと思いました。

◆授業で使用した資料（〇内は使用した時間）

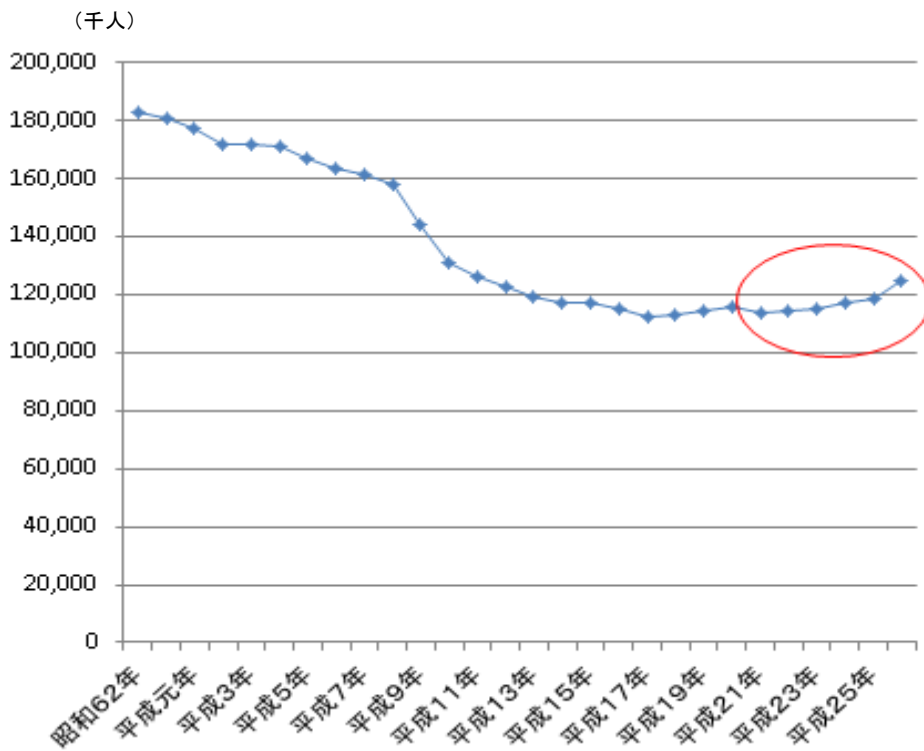
④アクセス早見表（岩倉北バージョン）

主要な観光名所間アクセス早見表																						
目的地	村松公園		国府公園		金剛寺		高堂		開国寺		浄水寺		二重城		京下駄		京御所		京御殿		寛永寺	
	徒歩 15分	バス 10分	徒歩 10分	バス 5分	徒歩 10分	バス 5分	徒歩 10分	バス 5分	徒歩 10分	バス 5分	徒歩 10分	バス 5分	徒歩 10分	バス 5分	徒歩 10分	バス 5分	徒歩 10分	バス 5分	徒歩 10分	バス 5分	徒歩 10分	バス 5分
村松公園 「寛永寺」 徒歩15分 バス10分	村松公園																					
	徒歩15分																					
京下駄 「寛永寺」 徒歩10分	京下駄																					
	徒歩10分																					
高堂 「寛永寺」 徒歩10分	高堂																					
	徒歩10分																					
開国寺 「寛永寺」 徒歩10分	開国寺																					
	徒歩10分																					
浄水寺 「寛永寺」 徒歩10分	浄水寺																					
	徒歩10分																					
二重城 「寛永寺」 徒歩10分	二重城																					
	徒歩10分																					
京御所 「寛永寺」 徒歩10分	京御所																					
	徒歩10分																					
京御殿 「寛永寺」 徒歩10分	京御殿																					
	徒歩10分																					
寛永寺 「寛永寺」 徒歩10分	寛永寺																					
	徒歩10分																					



◎：所要時間 ※ 所要時間は、徒歩バス停・駅間距離の平均歩行時間及び平均乗換時間合計を示してあり、乗換される駅、時間等、天気、交通状況により変化する場合がございます。最寄りバス停・駅間距離の徒歩時間は含まれません。

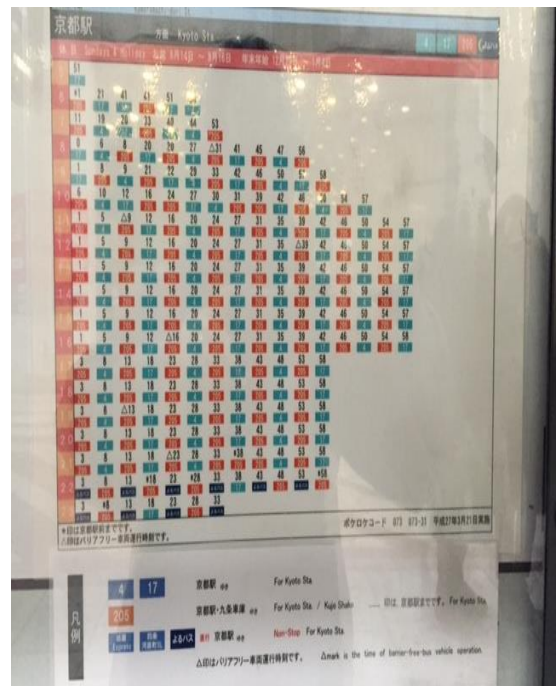
④京都市バス利用者数の推移（授業ではパワーポイントで数値を1年ごとに提示）



⑤写真をもとにして予想する資料



【四条河原町バス停】



【バスの時刻表】



【コンビニエンスストアのバス待ちスペース】



【四条河原町バス停】

⑤ 検証資料

※京都市交通局ホームページ

⑥ 「歩くまち・京都」の取組を紹介する資料



【パーク&ライド駐車場】



【工事中の四条通】



【四条通の渋滞】

⑥写真をもとにして予想する資料



【清水寺の外国人観光客】



【清水寺付近の渋滞】



【四条通近辺の小路の様子】

◎検証資料

※「歩くまち・京都」憲章

◆授業で作成したもの（授業風景の写真）



◆授業の振り返り（まとめ）

総合的な学習の時間を用い、「クルマか公共交通機関のどちらが豊かなくらしをもたらしてくれるだろう」という単元目標のもと、京都市交通局の工夫や「歩くまち京都」の取組といった、これからの社会のあり方を模索している事実を「市内めぐり」の遠足と絡めて学習することで、価値観の変容をねらった。

学習前にはクラス22名中21名までもが「クルマの方が豊かなくらしをもたらしてくれる」と判断していたが、学習の最後には半数から3分の2程度の児童が「公共交通機関の方が豊かなくらしをもたらしてくれる」と判断した。また中には、「どちらも必要で、状況に応じて使い分けることが大切だ」という意見も見られた。

このような学習前と学習後の児童の意識の変容の理由としては、社会的な事実と出会うことで、児童の目線が個人的なもの（～自分にとって）から社会的なもの（～社会にとって）へと高まったことが考えられる。

今回の学習では、児童をある一定の価値観に導くのではなく、事実と出会わせることで自ら判断できる力を付けていくことを目標にした。今後とも社会を多面的にとらえ、より良い判断をすることができる力を育てていきたいと考えている。